

平成 31 年度使用中学校用教科用図書

調査研究結果

特別の教科 道徳

種目【 特別の教科 道徳 】(1/4)

着眼点と調査の方法	2 東書	11 学図																																								
<p>1ー(1) 内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性に配慮し、どのような構成・配列上の特徴があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じて 12 の重要内容を設け、複数の教材で繰り返し学習できるようにしている。 ・全学年で「生命の尊さ」において 3 教材を配列している。 ・学年で重要内容を変更している。 <p>(例)「郷土(1年)」「我が国(2年)」「国際(3年)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導時期を考慮し、ユニットを組んだ教材配列になっている。 <p>(例)1年5月「いじめ」p24～、2年4月「生活習慣」p14～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で 13 の重要内容を設け、2 つの教材で繰り返し学習できるようにしている。 ・重点内容は全学年、共通である。 ・指導内容と関連した考えるポイントを示している。 <p>(例)1年「災害に備える」【身の安全】【先人に学ぶ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導時期を考慮した教材配列になっている。 <p>(例)1年10月「合唱コンクール」p116～、2年11月「マラソン大会」p130～</p>																																								
<p>1ー(2) 目的に応じ、どのような言語活動が取り上げられているか。また、当該言語活動の分量はどのようであるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に話し合いの手引きを、内容項目によって、話し合い活動を設定している。(例)1年「いじめのない世界へ」p24 ・各教材に「つぶやき」コーナーを設置している。(例)3年 p30 ・話し合い活動用のワークシートを位置付けている。(例)1年p24 <p>《話し合いを促す問い※を位置付けた教材及び、自分の考えを書く欄を位置付けた教材の数》</p> <table border="1" data-bbox="370 617 1072 727"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話し合いを促す問い</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>考えを書く欄</td> <td>38</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>112</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「話し合おう・考え合おう」などと投げかけている問い</p>		1年	2年	3年	合計	話し合いを促す問い	8	6	6	20	考えを書く欄	38	37	37	112	<ul style="list-style-type: none"> ・「意見交換」という話し合いを促す問いを位置付けている。 <p>(例)1年「言葉の壁は「日本舞踊」で乗り越えた」p.148</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材に「学びの記録」コーナーを設置している。(例)2年p66 ・「心の扉」で学びを深める記述欄を設置している。(例)2年p67 <p>《話し合いを促す問い※を位置付けた教材及び、自分の考えを書く欄を位置付けた教材の数》</p> <table border="1" data-bbox="1110 617 1816 727"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話し合いを促す問い</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>考えを書く欄</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「話し合おう・考え合おう」などと投げかけている問い</p>		1年	2年	3年	合計	話し合いを促す問い	35	35	35	105	考えを書く欄	35	35	35	105										
	1年	2年	3年	合計																																						
話し合いを促す問い	8	6	6	20																																						
考えを書く欄	38	37	37	112																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
話し合いを促す問い	35	35	35	105																																						
考えを書く欄	35	35	35	105																																						
<p>1ー(3) 「着眼点」に示した三つの学習の内容や分量はどのようであるか。</p>	<p>【各教材の学習展開の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に 2 つの問いで、学習の流れを示している。(例)1年 p45 <p>【自】全ての読み物教材に、登場人物の判断や心情を類推する問いが位置付けられている。</p> <p>【問】全学年で、2時間扱いで問題解決的な学習を組み込んだ教材を配置している。(例)1年「その人が本当に望んでいること」p96～p102</p> <p>【体】全学年で、役割演技を取り入れた活動を組み入れた教材を配置している。(例)1年「もし、あのときにもどれるなら」p46・47</p>	<p>【各教材の学習展開の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に 3～4 つの問いで、学習の流れを示している。(例)1年 p47 <p>【自】全ての読み物教材に、登場人物の判断や心情を類推する問いが位置付けられている。</p> <p>【問】全学年で、問題解決的な学習を促す問いが位置付けられた読み物教材がある。(例)1年「キャッチボール」p47</p> <p>【体】全学年で、役割演技を促す問いが位置付けられた読み物教材がある。(例)1年「うちわと涙」p66</p>																																								
<p>2ー(1) 現代的な課題をはじめ、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どんな教材を取り上げているか。また、その分量はどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題に対応した教材 <table border="1" data-bbox="370 1111 1014 1248"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ問題</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>情報モラル</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題、生命尊重を全学年で重要項目として取り上げ、3教材を組み合わせたユニット形式を取り入れている。(例)1年 p24～ ・学年に応じて、環境問題や生命尊重、持続可能な社会などを取り上げている。 		1年	2年	3年	合計	いじめ問題	3	3	3	9	情報モラル	1	1	4	6	生命尊重	3	3	3	9	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題に対応した教材等 <table border="1" data-bbox="1110 1111 1758 1248"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ問題</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>情報モラル</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題に向き合う教材の後に「心の扉」で、自分を見つめる活動を設定している。 ・学年に応じて、五輪教育、持続可能な社会、福祉教育などを取り上げている。 		1年	2年	3年	合計	いじめ問題	3	4	2	9	情報モラル	1	1	3	5	生命尊重	3	4	3	10
	1年	2年	3年	合計																																						
いじめ問題	3	3	3	9																																						
情報モラル	1	1	4	6																																						
生命尊重	3	3	3	9																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
いじめ問題	3	4	2	9																																						
情報モラル	1	1	3	5																																						
生命尊重	3	4	3	10																																						
<p>2ー(2) 家庭や地域社会と連携するために、どのような内容を取り上げ、どのような構成・配列上の特徴があるか。</p>	<p>「家庭生活」に関する教材</p> <table border="1" data-bbox="370 1426 1014 1536"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族愛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>家庭生活</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	家族愛	1	1	1	3	家庭生活	4	5	5	14	<p>「家庭生活」に関する教材</p> <table border="1" data-bbox="1110 1426 1758 1536"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族愛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>家庭生活</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で「夏休みの生活」で家庭・地域生活の内容を示している。(例)1年 p82 ・巻末に「保護者の方へ」を設定し、道徳の学習について説明している。 		1年	2年	3年	合計	家族愛	1	1	1	3	家庭生活	8	8	8	24										
	1年	2年	3年	合計																																						
家族愛	1	1	1	3																																						
家庭生活	4	5	5	14																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
家族愛	1	1	1	3																																						
家庭生活	8	8	8	24																																						
<p>3 教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を図るために、どのような内容が取り上げられているか。また、評価への対応について、どのような工夫があるか。</p>	<p>【他の教育活動との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに関連ある教科をマークで示している。 <p>(例)1年「さらなる高みを目指して」(数学・保健) 2年「生活習慣を見直そう」(家庭) 3年「郷土に息づく心にふれて」(社会・音楽)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材の発問で、今後の生活につながる投げかけをしている。 <p>(例)1年:「公正、公平なクラスを実現するために、どのようなことに気を付けたらよいだろう」</p> <p>【評価への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「自分の学びを振り返ろう」を設置し、学期ごとに授業を振り返り、自己評価できるようにしている。(例)3年 p187 	<p>【他の教育活動との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に「学級づくり」、中間に「夏休みの生活」に関する内容を示している。 <p>(例)1年「聞こう・話そう・サイコロトーク」(学級づくり) 全学年「さあ、楽しい夏休み」(夏休み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材の発問で、今後の生活につながる投げかけをしている。 <p>(例)1年:「集団の一員として行動するときは、どんな心で取り組んだらよいと思うか。」</p> <p>【評価への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに「学びの記録」を設置し、各時間の学習を記録できるようにしている。(例)2年 p80・81 ・巻末に「一年間の振り返り」を設置し、授業を振り返り、自己評価できるようにしている。(例)2年 p226 																																								
<p>4ー(1) ふるさと岐阜や地域の誇りと愛着をもつことができるために、どんな教材を取り上げているか。また、その分量はどうか。</p>	<p>「郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度」に関する教材</p> <table border="1" data-bbox="370 2025 1014 2099"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【ふるさと岐阜に関する資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年「ぼくのふるさと」(恵那市)p35(読み物) ・2年「六千人の命のピザ」(杉原千畝)p94(読み物) ・「郷土のことを考える」(千本松原)p183 		1年	2年	3年	合計	郷土	2	1	1	4	<p>「郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度」に関する教材</p> <table border="1" data-bbox="1110 2025 1758 2099"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【ふるさと岐阜に関する資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年「飛騨の匠の造った家」(高山市)p132(読み物) ・2年「希望のピザ」(杉原千畝)p190(読み物) 		1年	2年	3年	合計	郷土	2	2	2	6																				
	1年	2年	3年	合計																																						
郷土	2	1	1	4																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
郷土	2	2	2	6																																						
<p>5ー(1) 印刷の状況(鮮明度、美しさ)はどうか。また、障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○大きさ:257mm×210mm(AB版) ○重さ:(平均):読物資料 約389g ・印刷は鮮明で視認性が高い。 ・本文書体にはUD書体を使用している。 ・表紙の耐久性は高く、製本は堅牢である。 ・色覚特性に適応するデザインを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きさ:257mm×210mm(AB版) ○重さ:(平均):読物資料 約516g ・印刷は鮮明で視認性が高い。 ・本文書体にはUD書体を使用している。 ・表紙の耐久性は高く、製本は堅牢である。 ・色覚特性に適応するデザインを採用している。 																																								
<p>5ー(2) 目次、索引、注、凡例、巻末資料等の使いやすさには、どのような特徴があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目次には、4つの内容別に資料番号を色分けしている。 ・巻頭に道徳の進め方についての記載がある。 ・巻頭に内容項目ごとに教材をまとめた表がある。 ・巻末に郷土についての資料がある。 ・巻末に「書き込み用紙」「心情円」がある。 ・難しい言葉は、本文の下部に注として説明がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次には、4つの内容別と10のポイントが分かるように資料番号を色分けし、記号もつけてある。 ・目次に資料の中にある印の意味を記載している。 ・目次に道徳の学習の進め方についての記載がある。 ・巻末に内容項目ごとに教材をまとめた表がある。 ・難しい言葉は、本文の下部に注として説明がある。 																																								

種目【 特別の教科 道徳 】(2/4)

着眼点と調査の方法	17 教出	38 光村																																								
1-1(1) 内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性に配慮し、どのような構成・配列上の特徴があるか。	<ul style="list-style-type: none"> 1年で9、2年で10、3年で11の重要指導内容を設け、複数の教材で繰り返し学習できるようにしている。 全学年で「生命の尊さ」「伝統文化・郷土愛」において、2つ以上の教材を配列している。 学年で重要内容を変更している。 (例)「自主自律(1年)」「公正、公平(2年)」「自然愛護(3年)」 ・指導時期を考慮した教材配列になっている。 (例)1年9月「合唱コンクール」P 86～	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じて12の重要指導内容を設け、複数の教材で繰り返し学習できるようにしている。 全学年で「生命の尊さ」において3教材を配列している。 学年で重要内容を変更している。 (例)「節度(1年)」「社会参画(2年)」「真理の探究(3年)」 ・指導時期を考慮して、4つのまとまりに分け、ユニットを組んだ教材配列になっている。(例)1年4・5月「自ら考えて」、6・7月「仲間とよりよい生活」																																								
1-1(2) 目的に応じ、どのような言語活動が取り上げられているか。また、当該言語活動の分量はどのようであるか。	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの道しるべ」や「やってみよう」の中で、話し合いを促す問いを位置付けている。(例)1年p17、p77 「やってみよう」で、体験活動用のワークシートを位置付けている。(例)3年「校長先生の模擬試験」p95 ≪話し合いを促す問い*を位置付けた教材及び、自分の考えを書く欄を位置付けた教材の数≫ <table border="1" data-bbox="372 642 1070 751"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話し合いを促す問い</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>考えを書く欄</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> ※「話し合おう・考え合おう」などと投げかけている問い		1年	2年	3年	合計	話し合いを促す問い	10	9	12	31	考えを書く欄	5	2	1	8	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年の冒頭には、主体的に考え、話し合うことに関する『対話』で広がる、道徳の時間」が設けられている。 各教材に「私の気づき」を位置付け、学んだことを振り返る記述欄を設置している。(例)1年 p37 ≪話し合いを促す問い*を位置付けた教材及び、自分の考えを書く欄を位置付けた教材の数≫ <table border="1" data-bbox="1116 642 1818 751"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話し合いを促す問い</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>考えを書く欄</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table> ※「話し合おう・考え合おう」などと投げかけている問い		1年	2年	3年	合計	話し合いを促す問い	1	6	5	12	考えを書く欄	35	35	35	105										
	1年	2年	3年	合計																																						
話し合いを促す問い	10	9	12	31																																						
考えを書く欄	5	2	1	8																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
話し合いを促す問い	1	6	5	12																																						
考えを書く欄	35	35	35	105																																						
1-1(3) 「着眼点」に示した三つの学習の内容や分量はどのようであるか。	【各教材の学習展開の示し方】 <ul style="list-style-type: none"> 主に3つの問いで、学習の流れを示している。(例)1年 p26 【自】 「あなたならどう思うか」と自分の考えを問う発問が複数の教材で位置付けられている。(例)1年p31、p99 【問】 全教材に、問題解決的な学習を促す学習課題を位置付けている。(例)3年「ハゲワシと少女」p30 【体】 全学年で「やってみよう」が設けられ、役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動が取り入れられている。(例)1年「不自然な独り言」p27	【各教材の学習展開の示し方】 <ul style="list-style-type: none"> 学習テーマと4～5つの問いで、学習の流れを示している。(例)1年 p37 【自】 全ての読み物教材において、登場人物の判断や心情を類推する問いが位置付けられている。(例)1年 p37 【問】 全学年で、問題解決的な学習を促すテーマが設定された教材がある。(例)2年「明日、みんなで着よう」p139 【体】 全学年でコラムにおいて、人と人との関係づくりを練習する投げかけがある。(例)2年「大人と接するときに」p40																																								
2-1(1) 現代的な課題をはじめ、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どんな教材を取り上げているか。また、その分量はどうか。	「現代的な課題」に対応した教材 <table border="1" data-bbox="372 1133 1070 1278"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ問題</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>情報モラル</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 全学年で「生命の尊さ」「いじめや差別」「情報とよりよく付き合う」を重視し、巻頭で取り上げて紹介している。 学年に応じて、環境問題、持続可能な社会、生命倫理などを取り上げている。 		1年	2年	3年	合計	いじめ問題	2	2	1	5	情報モラル	2	2	1	5	生命尊重	3	2	3	8	「現代的な課題」に対応した教材 ※()内はコラム等 <table border="1" data-bbox="1116 1133 1818 1278"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ問題</td> <td>7(1)</td> <td>8(1)</td> <td>8(1)</td> <td>23(3)</td> </tr> <tr> <td>情報モラル</td> <td>3(1)</td> <td>3(1)</td> <td>1(1)</td> <td>7(3)</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 全学年で、いじめ問題や情報モラルについてのコラムを位置付けている。 学年に応じて、環境問題、食育、五輪教育などを取り上げている。 		1年	2年	3年	合計	いじめ問題	7(1)	8(1)	8(1)	23(3)	情報モラル	3(1)	3(1)	1(1)	7(3)	生命尊重	3	3	3	9
	1年	2年	3年	合計																																						
いじめ問題	2	2	1	5																																						
情報モラル	2	2	1	5																																						
生命尊重	3	2	3	8																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
いじめ問題	7(1)	8(1)	8(1)	23(3)																																						
情報モラル	3(1)	3(1)	1(1)	7(3)																																						
生命尊重	3	3	3	9																																						
2-1(2) 家庭や地域社会と連携するために、どのような内容を取り上げ、どのような構成・配列上の特徴があるか。	「家庭生活」に関する教材 <table border="1" data-bbox="372 1454 1070 1561"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族愛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>家庭生活</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の振り返りのページに、家の人から言葉を記入する箇所がある。 		1年	2年	3年	合計	家族愛	1	1	1	3	家庭生活	5	7	4	16	「家庭生活」に関する教材 <table border="1" data-bbox="1116 1454 1818 1561"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族愛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>家庭生活</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	家族愛	1	1	1	3	家庭生活	6	4	5	15										
	1年	2年	3年	合計																																						
家族愛	1	1	1	3																																						
家庭生活	5	7	4	16																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
家族愛	1	1	1	3																																						
家庭生活	6	4	5	15																																						
3 教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を図るために、どのような内容が取り上げられているか。また、評価への対応について、どのような工夫があるか。	【他の教育活動との関連】 <ul style="list-style-type: none"> 各教材の「学びの道しるべ」で今後の生活につながる投げかけがある。 (例)1年「お互いの考えや気持ちを伝え合うとき、どのような心がまえが必要だろうか。」 【評価への対応】 <ul style="list-style-type: none"> 巻末に「道徳の学びを記録しよう」を設置し、学期ごとに授業を振り返り、自己評価できるようにしている。(例)3年 p174 巻末に「どんな〇年生になりたいか」を設置し、次年度に向けての決意を書くページがある。(例)3年 p176 	【他の教育活動との関連】 <ul style="list-style-type: none"> 資料と他教科の関連を巻末に一覧にしている。 資料の後には手引きのページがあり、考える観点や他教科とのかわりについてなどに構成されている。 (例)1年「これから学ぶ保健体育で、今日の学びを思い出そう」 【評価への対応】 <ul style="list-style-type: none"> 巻末に「学びのきろく」を設け、4つのまとまりごとに自分の思いの変化を書くページがある。(例)2年最終頁 																																								
4-1(1) ふるさと岐阜や地域の誇りと愛着をもつことができるために、どんな教材を取り上げているか。また、その分量はどうか。	「郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度」に関する教材 <table border="1" data-bbox="372 2016 1070 2088"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> 【ふるさと岐阜に関する資料】 <ul style="list-style-type: none"> 2年「怒りの救助活動」(神岡警察署)p64(読み物) 2年「六千人の命のビザ」(杉原千畝)p78(読み物) 各学年「都道府県ゆかりの人」(織田信長、高橋尚子、池井戸潤)(巻末資料) 		1年	2年	3年	合計	郷土	4	2	2	8	「郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度」に関する教材 <table border="1" data-bbox="1116 2016 1818 2088"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> 【ふるさと岐阜に関する資料】 <ul style="list-style-type: none"> 2年「世界遺産」(白川郷)巻末資料 		1年	2年	3年	合計	郷土	1	1	1	3																				
	1年	2年	3年	合計																																						
郷土	4	2	2	8																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
郷土	1	1	1	3																																						
5-1(1) 印刷の状況(鮮明度、美しさ)はどうか。また、障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。	○大きさ:257mm×182mm(B5版) ○重さ:(平均):読物資料 約342g <ul style="list-style-type: none"> 印刷は鮮明で視認性が高い。ノートと同じB5判。 本文書体にはUD書体を使用している。 表紙の耐久性は高く、製本は堅牢である。 色覚特性に適應するデザインを採用している。 	○大きさ:257mm×182mm(B5版) ○重さ:(平均):読物資料 約421g <ul style="list-style-type: none"> 印刷は鮮明で視認性が高い。ノートと同じB5判。 本文書体には明朝体を使用している。 表紙の耐久性は高く、製本は堅牢である。 色覚特性に適應するデザインを採用している。 																																								
5-1(2) 目次、索引、注、凡例、巻末資料等の使いやすさには、どのような特徴があるか。	<ul style="list-style-type: none"> 目次には、4つの内容別に資料番号を色分けしている。 巻頭に道徳の進め方についての記載がある。(1年のみ)p4 巻末に内容項目ごとに教材をまとめた表がある。 巻末に「都道府県にゆかりのある人と言葉」の資料がある。 難しい言葉は、本文の下部に注として説明がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次には、4つのまとまりに色分けしている。 巻頭には『対話』で広がる道徳の時間」巻末には「どうして『道徳』を学ぶんだろう?」を記載している。 巻末に内容項目やテーマごとに教材をまとめた表がある。 巻末には、有名人からの手書きメッセージがある。 難しい言葉は、本文の下部に注として説明がある。 																																								

種目【 特別の教科 道徳 】(3/4)

着眼点と調査の方法	116 日文	224 学研																																								
1-1(1) 内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性に配慮し、どのような構成・配列上の特徴があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じて11の重要内容を設け、複数の教材で繰り返し学習できるようにしている。 ・全学年で「生命の尊さ」、1・2年で「友情、信頼」、3年で「社会参画、公共の精神」において3教材を配列している。 ・学年で重要内容を変更している。 (例)「郷土(1年)」「勤労(2年)」「相互理解(3年)」 ・指導時期を考慮し、ユニットを組んだ教材配列になっている。 (例)1年9月「体育祭」p88～、2年9月「職場体験」P84～3年7月「進路」p74～	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じて10～12の重要内容を設け、複数の教材で繰り返し学習できるようにしている。 ・全学年で「生命の尊さ」において3教材を配列している。 ・学年で重要内容を変更している。 (例)「希望と勇氣(1年)」「社会参画(2年)」「国際理解(3年)」 ・指導時期を考慮した教材配列で、ユニットもある。 (例)1年4月「挨拶」p20～、2年9月「職場体験」p74～ ・教材を内容項目や関連する様々なテーマごとに、整理してまとめている。(例)1年 p6・7・8																																								
1-1(2) 目的に応じ、どのような言語活動が取り上げられているか。また、当該言語活動の分量はどのようであるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭で、考え、議論する学び方を説明している。1年 p3 ・内容に応じて、議論を促す展開とワークシートがある。 ・全学年、全ての教材に対し、別冊「道徳ノート」で書く活動が設定されている。(例)道徳ノート3年 p2 ≪話し合いを促す問い*を位置付けた教材及び、自分の考えを書く欄を位置付けた教材の数≫ <table border="1" data-bbox="369 675 1074 784"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話し合いを促す問い</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>考えを書く欄</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table> ※「話し合おう・考え合おう」などと投げかけている問い		1年	2年	3年	合計	話し合いを促す問い	9	7	9	25	考えを書く欄	35	35	35	105	<ul style="list-style-type: none"> ・「深めよう」というページで、話し合いを促す学習過程を位置付けている。(例)1年p171 ・「深めよう」「クローズアップ」を設置し、書く活動を位置付けている。(例)1年 p23 ≪話し合いを促す問い*を位置付けた教材及び、自分の考えを書く欄を位置付けた教材の数≫ <table border="1" data-bbox="1110 675 1816 784"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話し合いを促す問い</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>考えを書く欄</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> ※「話し合おう・考え合おう」などと投げかけている問い		1年	2年	3年	合計	話し合いを促す問い	5	6	8	19	考えを書く欄	16	8	12	36										
	1年	2年	3年	合計																																						
話し合いを促す問い	9	7	9	25																																						
考えを書く欄	35	35	35	105																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
話し合いを促す問い	5	6	8	19																																						
考えを書く欄	16	8	12	36																																						
1-1(3) 「着眼点」に示した三つの学習の内容や分量はどのようであるか。	【各教材の学習展開の示し方】 ・主に2つの問いで、学習の流れを示している。(例)2年 p24 【自】全学年の読み物教材において、登場人物の判断や心情を類推する問いを位置付けている。(例)1年p109、道徳ノートp21 【問】全学年で、問題解決的な学習を促す教材が位置付けられており、「学習の進め方」が設けられている。(例)1年「あったほうがいい？」p60、道徳ノートp11 【体】全学年で、役割演技や体験的な活動を促す教材を配置している。(例)1年「自分って何だろう」p82・83	【各教材の学習展開の示し方】 ・主に1つの問いで、学習の流れを示している。(例)1年 p106 【自】全学年の読み物教材において、登場人物の判断や心情を類推する問いを位置付けている。(例)1年p40 【問】全学年で、問題解決的な学習を促す問いを位置付けた読み物教材がある。(例)1年「夏の思い出」p80 【体】全学年で特設ページにおいて、役割演技などを通して具体的に考えられるようになっている。(例)1年「二つの心の対話を演じてみよう」p37																																								
2-1(1) 現代的な課題をはじめ、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どんな教材を取り上げているか。また、その分量はどうか。	「現代的な課題」に対応した教材 ※()内はコラム等 <table border="1" data-bbox="369 1168 1074 1311"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ問題</td> <td>10(3)</td> <td>8(3)</td> <td>8(2)</td> <td>26(8)</td> </tr> <tr> <td>情報モラル</td> <td>3(1)</td> <td>4(1)</td> <td>3(1)</td> <td>10(3)</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>5(2)</td> <td>5(2)</td> <td>8(1)</td> <td>18(5)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題を全学年で重要項目として取り上げ、「いじめ防止」ユニットを年間で複数配置している。(例)1年 p28～43 ・学年に応じて、障がい者・高齢者福祉、持続可能な社会、消費者教育などを取り上げている。 		1年	2年	3年	合計	いじめ問題	10(3)	8(3)	8(2)	26(8)	情報モラル	3(1)	4(1)	3(1)	10(3)	生命尊重	5(2)	5(2)	8(1)	18(5)	「現代的な課題」に対応した教材 ※()内はコラム等 <table border="1" data-bbox="1110 1168 1816 1311"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ問題</td> <td>5(1)</td> <td>5(1)</td> <td>7(1)</td> <td>17(3)</td> </tr> <tr> <td>情報モラル</td> <td>4(1)</td> <td>4(1)</td> <td>3(1)</td> <td>11(3)</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で「生命尊重」と「いじめ問題」を重要項目として取り上げ、どの学年も3教材ずつ配置されている。 ・学年に応じて、持続可能な社会、福祉教育、消費者教育、食育などを取り上げている。 		1年	2年	3年	合計	いじめ問題	5(1)	5(1)	7(1)	17(3)	情報モラル	4(1)	4(1)	3(1)	11(3)	生命尊重	3	3	3	9
	1年	2年	3年	合計																																						
いじめ問題	10(3)	8(3)	8(2)	26(8)																																						
情報モラル	3(1)	4(1)	3(1)	10(3)																																						
生命尊重	5(2)	5(2)	8(1)	18(5)																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
いじめ問題	5(1)	5(1)	7(1)	17(3)																																						
情報モラル	4(1)	4(1)	3(1)	11(3)																																						
生命尊重	3	3	3	9																																						
2-1(2) 家庭や地域社会と連携するために、どのような内容を取り上げ、どのような構成・配列上の特徴があるか。	「家庭生活」に関する教材 <table border="1" data-bbox="369 1489 1074 1599"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族愛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>家庭生活</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳ノートの巻末の振り返りのページに、家の人から言葉を記入する箇所がある。 		1年	2年	3年	合計	家族愛	1	1	1	3	家庭生活	5	4	6	15	「家庭生活」に関する教材 <table border="1" data-bbox="1110 1489 1816 1599"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族愛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>家庭生活</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	家族愛	1	1	1	3	家庭生活	4	3	6	13										
	1年	2年	3年	合計																																						
家族愛	1	1	1	3																																						
家庭生活	5	4	6	15																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
家族愛	1	1	1	3																																						
家庭生活	4	3	6	13																																						
3 教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を図るために、どのような内容が取り上げられているか。また、評価への対応について、どのような工夫があるか。	【他の教育活動との関連】 ・資料と他教科との関連を巻末に一覧にしている。 (例)1年「二人の約束」(保体・特活) 2年「さよなら、ホストファミリー」(社会・外国語) 3年「風に立つライオン」(音楽・総合) 【評価への対応】 ・道徳ノートに、毎時間自分の学習状況を振り返り、自己評価できるようにしている。 ・道徳ノートの巻末に、各学期を振り返り印象に残った学習を書きことができるようにしている。(例)1年 p40	【他の教育活動との関連】 ・資料と他教科との関連を巻末に一覧にしている。 (例)1年「日曜日の朝に」(美術・保体) ・各教材の発問で、今後の生活につながる投げかけをしている。 (例)1年「あなたができるボランティアは何だろう」 【評価への対応】 ・巻頭に「マイプロフィール」があり、一年の初めに様々な視点から自分を見つめることができるようにしている。 ・巻末には「心の四季」を設け、1年の学びの振り返りができるようにしている。(例)2年 p183																																								
4-1(1) ふるさと岐阜や地域の誇りと愛着をもつことができるために、どんな教材を取り上げているか。また、その分量はどうか。	「郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度」に関する教材 <table border="1" data-bbox="369 2047 996 2121"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> 【ふるさと岐阜に関する資料】 ・2年「受け継がれる文化」(郡上おどり)p65(コラム) ・3年「命のトランジットピザ」(杉原千畝)p62(読み物)		1年	2年	3年	合計	郷土	2	1	1	4	「郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度」に関する教材 <table border="1" data-bbox="1110 2047 1738 2121"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> 【ふるさと岐阜に関する資料】 ・1年「自然保護」(白山国立公園)p79(コラム) ・3年「白川郷に魅せられて」(白川郷)p132(読み物) 「杉原千畝の選択」(杉原千畝)p170(読み物)		1年	2年	3年	合計	郷土	1	1	1	3																				
	1年	2年	3年	合計																																						
郷土	2	1	1	4																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
郷土	1	1	1	3																																						
5-1(1) 印刷の状況(鮮明度、美しさ)はどうか。また、障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○大きさ:257mm×180mm(B5 小版) ○重さ:(平均):読物資料 約332g ノート 約93g ・印刷は鮮明で視認性が高い。ノートと同じB5判。 ・本文書体にはUD書体を使用している。 ・表紙の耐久性は高く、製本は堅牢である。 ・色覚特性に適應するデザインを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きさ:297mm×210mm(A4 版) ○重さ:(平均):読物資料 約415g ・印刷は鮮明で視認性が高い。文字情報や視覚的情報からA4判。 ・本文書体にはUD書体を使用している。 ・表紙の耐久性は高く、製本は堅牢である。 ・色覚特性に適應するデザインを採用している。 																																								
5-1(2) 目次、索引、注、凡例、巻末資料等の使いやすさには、どのような特徴があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に4つの内容が分かるように、番号を色分けしている。 ・巻頭に「いじめ」「いのち」「情報モラル」などテーマ別で教材をまとめている。 ・巻頭に「道徳科で学ぶこと」「学び方」の記載がある。 ・難しい言葉は、本文の下部に注として説明がある。 ・巻末に内容項目ごとに教材をまとめた表がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に4つの内容が分かるように、色分けした印がある。 ・巻頭に教材を内容項目やテーマで分類し、掲載している。 ・巻頭にかげがえのない命、誰もが暮らしやすい社会、いじめをなくすためになどテーマ別で教材を紹介している。 ・難しい言葉は、本文の下部に注として説明がある。 ・巻末に、内容項目や各教科との関連をまとめた表がある。 																																								

種目【 特別の教科 道徳 】(4/4)

着眼点と調査の方法	232 廣あかつき	233 日科																																								
1-1) 内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性に配慮し、どのような構成・配列上の特徴があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じて9の重要内容を設け、複数の教材で繰り返し学習できるようにしている。 ・全学年で「自主、自律」「思いやり」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」において3教材を配列している。 ・指導時期を考慮した教材配列になっている。 (例)1年4月「目標希望」p6～2、10月「職場体験」p77～ 3年10月「進路選択」p72～	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じて11～12の重要内容を設け、複数の教材で繰り返し学習できるようにしている。 ・全学年で「友情、信頼」において3教材を配列している。 ・学年で重要内容を変更している。 (例)「遵法精神(1年)」「相互理解(2年)」「生命の尊さ(3年)」 ・学習指導要領に示された内容の順に教材を配列している。																																								
1-2) 目的に応じ、どのような言語活動が取り上げられているか。また、当該言語活動の分量はどのようであるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材に、「考える、話し合う」という話し合いを促す見出しを付けて展開を位置付けている。 ・「道徳ノート」に、学習の記録と、学習指導要領の内容項目順に、考えを深め、記述するページがある。(例)道徳ノート1年 p2・3 ≪話し合いを促す問い*を位置付けた教材及び、自分の考えを書く欄を位置付けた教材の数≫ <table border="1" data-bbox="369 606 1074 716"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話し合いを促す問い</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>考えを書く欄</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> ※「話し合おう・考え合おう」などと投げかけている問い		1年	2年	3年	合計	話し合いを促す問い	35	35	35	105	考えを書く欄	22	23	22	67	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材に、「考え、話し合ってみよう」という話し合いを促す見出しをつけて展開を位置付けている。 ・全学年、3教材で、教科書に自分の考えを書くワークシートを設けている。(例)1年 p84・85 ≪話し合いを促す問い*を位置付けた教材及び、自分の考えを書く欄を位置付けた教材の数≫ <table border="1" data-bbox="1110 606 1816 716"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話し合いを促す問い</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>考えを書く欄</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> ※「話し合おう・考え合おう」などと投げかけている問い		1年	2年	3年	合計	話し合いを促す問い	36	38	38	112	考えを書く欄	3	3	3	9										
	1年	2年	3年	合計																																						
話し合いを促す問い	35	35	35	105																																						
考えを書く欄	22	23	22	67																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
話し合いを促す問い	36	38	38	112																																						
考えを書く欄	3	3	3	9																																						
1-3) 「着眼点」に示した三つの学習の内容や分量はどのようであるか。	<ul style="list-style-type: none"> 【各教材の学習展開の示し方】 ・学習のねらいと3～4つの問いで、学習の流れを示している。(例)2年 p81 【自】全ての読み物教材において、登場人物の判断や心情を類推する問いが位置付けられている。(例)1年「裏庭のできごと」p14 【問】全学年で、「学習の手がかり」として問題を設定し、問題解決的な学習を促す展開がある。(例)1年「島耕作 ある朝の出来事」p64 【体】全学年で、追体験によって、道徳的価値について考えられる教材が配置されている。(例)2年「加奈子の職場体験」p81 別冊「道徳ノート」p30 	<ul style="list-style-type: none"> 【各教材の学習展開の示し方】 ・主に2つの問いで、学習の流れを示している。(例)3年 p121 【自】「あなたならどう思うか」と自分の考えを問う発問が複数の教材で位置付けられている。(例)1年p41、83 【問】全学年で、問題解決的な学習を促す問いを位置付けた読み物教材がある。(例)1年「環境先進国江戸」p152 【体】全学年で、相手の立場に立って考えるワークシートや活動を取り入れた教材が配置されている。(例)2年「あなたが見えているもの」p73 																																								
2-1) 現代的な課題をはじめ、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どんな教材を取り上げているか。また、その分量はどうか。	「現代的な課題」に対応した教材 ※()内はコラム等 <table border="1" data-bbox="369 1100 1074 1245"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ問題</td> <td>3(1)</td> <td>4(1)</td> <td>5(1)</td> <td>12(3)</td> </tr> <tr> <td>情報モラル</td> <td>3(1)</td> <td>3(1)</td> <td>2(1)</td> <td>8(3)</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年を通して、巻末に、情報モラルと持続可能な社会に関する特設ページを設置している。(例)1年 p158・159 ・学年に応じて、生命倫理、持続可能な社会、消費者教育、食育などを取り上げている。 		1年	2年	3年	合計	いじめ問題	3(1)	4(1)	5(1)	12(3)	情報モラル	3(1)	3(1)	2(1)	8(3)	生命尊重	3	3	3	9	「現代的な課題」に対応した教材 ※()内はコラム等 <table border="1" data-bbox="1110 1100 1816 1245"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ問題</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>情報モラル</td> <td>2(1)</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5(1)</td> </tr> <tr> <td>生命尊重</td> <td>3(1)</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>8(1)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「友情・信頼」の教材を各学年3つ配置している。(例)2年 p64 ・学年に応じて、環境教育、持続可能な社会、LGBTなどを取り上げている。(2年 LGBT「だから歌い続ける」p64) 		1年	2年	3年	合計	いじめ問題	3	3	3	9	情報モラル	2(1)	2	1	5(1)	生命尊重	3(1)	2	3	8(1)
	1年	2年	3年	合計																																						
いじめ問題	3(1)	4(1)	5(1)	12(3)																																						
情報モラル	3(1)	3(1)	2(1)	8(3)																																						
生命尊重	3	3	3	9																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
いじめ問題	3	3	3	9																																						
情報モラル	2(1)	2	1	5(1)																																						
生命尊重	3(1)	2	3	8(1)																																						
2-2) 家庭や地域社会と連携するために、どのような内容を取り上げ、どのような構成・配列上の特徴があるか。	「家庭生活」に関する教材 <table border="1" data-bbox="369 1418 1074 1528"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族愛</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>家庭生活</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	家族愛	2	2	2	6	家庭生活	7	7	5	19	「家庭生活」に関する教材 <table border="1" data-bbox="1110 1418 1816 1528"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族愛</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>家庭生活</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	家族愛	2	1	2	5	家庭生活	7	2	7	16										
	1年	2年	3年	合計																																						
家族愛	2	2	2	6																																						
家庭生活	7	7	5	19																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
家族愛	2	1	2	5																																						
家庭生活	7	2	7	16																																						
3 教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を図るために、どのような内容が取り上げられているか。また、評価への対応について、どのような工夫があるか。	<ul style="list-style-type: none"> 【他の教育活動との関連】 ・教科と関連のある内容がある。 (例)1年「音を宿す」(音楽) 2年「ネパールのビール」(社会) 3年「監督がくれたメダル」(保体) <ul style="list-style-type: none"> 【評価への対応】 ・別冊ノートの巻末に、学習の振り返りや心に残る授業の記録を書くページがまとめてある。(例)道徳ノート1年 p60 ・別冊ノートの巻末に内容ごとに5段階で自己評価する表がある。(例)道徳ノート1年 p60 	<ul style="list-style-type: none"> 【他の教育活動との関連】 ・教科等と関連のある内容がある。 (例)1年「パーソナリティ」(キャリア教育) 2年「加山さんの願い」(社会) 3年「臓器移植をめぐる生命と心」(保体) <ul style="list-style-type: none"> 【評価への対応】 ・巻末に、一年間の道徳の授業や心の成長を振り返って、5段階で自己評価したり、次年度への目標を書き込んだりする表がある。(例)1年 p190・191 																																								
4-1) ふるさと岐阜や地域の誇りと愛着をもつことができるために、どんな教材を取り上げているか。また、その分量はどうか。	「郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度」に関する教材 <table border="1" data-bbox="369 1972 996 2047"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 【ふるさと岐阜に関する資料】 ・岐阜県に関する資料は掲載されていない。 		1年	2年	3年	合計	郷土	1	1	1	3	「郷土の伝統と文化、郷土を愛する態度」に関する教材 <table border="1" data-bbox="1110 1972 1738 2047"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 【ふるさと岐阜に関する資料】 ・1年「白川郷」表紙 ・3年「苦悩の決断」(杉原千畝)p84(読み物) 		1年	2年	3年	合計	郷土	2	1	1	4																				
	1年	2年	3年	合計																																						
郷土	1	1	1	3																																						
	1年	2年	3年	合計																																						
郷土	2	1	1	4																																						
5-1) 印刷の状況(鮮明度、美しさ)はどうか。また、障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○大きさ:257mm×210mm(AB版) ○重さ:(平均):読物資料 約347g ノート 約147g ・印刷は鮮明で視認性が高い。 ・学年段階に応じた文字の大きさや行間である。 ・表紙の耐久性は高く、製本は堅牢である。 ・色覚特性に適應するデザインを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きさ:257mm×182mm(B5版) ○重さ:(平均):読物資料 約336g ・印刷は鮮明で視認性が高い。 ・本文書体にはUD書体を使用している。 ・表紙の耐久性は高く、製本は堅牢である。 ・色覚特性に適應するデザインを採用している。 																																								
5-2) 目次、索引、注、凡例、巻末資料等の使いやすさには、どのような特徴があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、発達の段階に応じた道徳の意義が記載されている。 ・巻頭に、道徳の時間の進め方についての掲載がある。 ・目次に道徳の4つの内容を示す記号の説明がある。 ・巻末に教材名、4つの視点、内容項目をまとめた表がある。 ・巻末には、全学年で、今日的な課題に関する資料がある。 ・難しい言葉は、本文の下部に注として説明がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に4つの内容が分かるように、番号を色分けしている。 ・巻頭に道徳の進め方や教科書の使い方についての記載がある。 ・難しい言葉は、本文の下部に注として説明がある。 ・巻末に教材名、4つの視点、内容項目をまとめた表がある。 																																								